

## 関西広域連合と関西経済連合会との意見交換会（概要）

平成29年8月10日

関西広域連合本部事務局

- 日 時 平成29年8月3日（木） 12:45～14:45
- 場 所 大阪府立国際会議場 12階特別会議場
- 出席者
- （関西広域連合） 井戸広域連合長、三日月委員、山田委員、松井委員、平井委員、吉村委員、竹山委員、村井副委員、海野副委員、植村副委員、鳥居副委員、宮崎和歌山県知事室長
- （関西経済連合会） 松本会長、松下副会長、牧野副会長、大坪副会長、柏原副会長、佐藤副会長、大竹副会長、八木副会長、真鍋副会長

### ○意見交換会のテーマと概要

#### 1 2025年万博の大阪・関西誘致に向けて

##### （主な発言内容）

##### 【大竹副会長（西日本電信電話（株）相談役）】

- ・関西広域連合、関経連ともに参画している2025日本万国博覧会誘致委員会では、大阪・関西への万博誘致に向け「国内機運醸成」や「海外プロモーション」に取り組んでいる。今後取組を更に加速させ、万博誘致競争を勝ち抜きたい。
- ・関西広域連合には引き続き、府県民や海外へのPR推進をお願いするとともに、公営の鉄道、バス等での万博PRを拡大してほしい。また、万博誘致の認知度向上のため共同で行事を開催したり、誘致委員会への個人会員入会勧奨など進めたい。
- ・来年度の関西広域連合トッププロモーションで万博のPRも行ってはどうか。
- ・来年1月の意見交換会は大阪府咲洲庁舎で開催し、夢洲視察も盛り込んでどうか。

- ・4月に関西広域連合として誘致対策会議を設置した。誘致委員会と連携しながら気運の醸成に取り組む。構成府県市の議会に誘致決議をしていただくことや誘致委員会にメンバーとして参加するなどすそ野を広げていく努力をしていきたい。（連合長）
- ・日本が世界に対して連続的なアピールが出来る大変望ましい機会。この機会を捕まえてインバウンドだけでなく日本と世界との関わり合いを密にしていかななくてはならない。そのためにも万博誘致に我々自身が積極的に取り組んでいく。（連合長）
- ・BIE視察について、アテンドや歓迎レセプションの開催など地元として協力していきたい。（連合長）
- ・夢洲の現地視察も、機会が与えられれば是非視察させていただきたい。（連合長）
- ・万博誘致については、誘致委員会事務局と関西広域連合等が一体となって検討し、国内気運醸成や海外PRなど効果的な取組を行っているところ。咲洲庁舎での意見交換会、夢洲現地視察のご提案について、さまざまな機会を通じて現地を視察いただくことは重要であり、具体的な調整を進める。他国との熾烈な競争を勝ち抜くため、オー

ルジャパンでB I E加盟国の支持を取り付けなくてはならない。皆様には企業のブランド力をもって加盟国へのプロモーション活動を積極的にお願いしたい。(松井知事)

- ・梅田エリアでの一体的な気運醸成など様々なご協力に感謝する。大阪市においても自ら汗をかいて市民に近いところでの気運醸成をこれからも進めていく。7/11には政令指定都市市長会で応援決議いただいております、全国的な気運醸成にも努めていく。また、海外プロモーションについては海外の支社、取引先等通じてご協力お願いしたい。(吉村市長)

**【松本会長（住友電気工業（株）会長）】**

- ・国内の気運醸成について、費用がかなりかかること、また残された時間が少なくなる中、日本が一つになってやっていく必要のある国家事業であるのに関東で盛り上がっていないことを懸念している。
- ・これからありとあらゆるパイプを使って日本全国の皆さんに熱い思いを持ってもらえるよう努力したい。(松井委員)
- ・まずは大阪、関西が当事者として取り組んでいく中で全国的にも広がっていくと考えている。(吉村委員)
- ・全国知事会でも決議してこれから盛り上げていかななくてはいけないと考えている。東京オリンピック・パラリンピックはフラッグイベントが各地域を回り始めるなど、全国で取り組んでいこうという過程づくりが進んでいる。万博もそういう仕組みが必要。I R等も含めインフラや WIFI など受け入れ体制について、関西が一丸となっていく戦略を早く作っていかなくてはいけない。(山田委員)
- ・万博、ワールドマスターズゲームズ、世界遺産など世界に向けて発信していくものを有機的に結びつけて、企業のリーダー、自治体がいろんなパイプを通じて一気に成にやっていくべき。ストーリー、セールストークを考えて共有したい。(平井委員)
- ・百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産国内推薦へのご支援にお礼を申し上げる。万博を呼び込むためにも、歴史や文化が優れている日本で有数の地域であることを示すことが大事。皆さんのお力もお借りし見せ方を工夫して、ユネスコに登録されるよう努力したい。(竹山市長)

**【松下副会長（パナソニック（株）副会長）】**

- ・インフラについては、これまでの議論は関西と東京の行き来をいかに便利にするかという議論しかなかった。外国人をいかに関西の各都市に引っ張ってくるかというのは大事な視点。

**【柏原副会長（（株）京都銀行取締役相談役）】**

- ・けいはんな学研都市では、がん治療や糖尿病対策、脳のタンパクの研究など万博のテーマ「命輝く未来社会のデザイン」に関係する様々な研究を行っている。大阪での万博開催が実現すればそれに向けて開発してもらおうこととしており、ご支援お願いしたい。
- ・東京オリンピックに向けて各地で行われるようなイベントを、万博でも考えなくてはいけないのではないかと。万博で何がしたいのかをコンセプトとしてもっと明確にした方がいい。(連合長)

## 2 スポーツ振興について

### (主な発言内容)

#### 【佐藤副会長（(株)神戸製鋼所相談役）】

- ・ 関経連では、今年度「スポーツ振興委員会」を新たに設置し、関西のスポーツ及びその関連産業の活性化を目指した中長期的な取組を検討・実施していくこととしている。
- ・ WMG（ワールドマスターズゲームズ）については、オークランド大会視察後に出てきた広域開催ならでの課題として会場間、特に閉会式会場への交通アクセスの問題や、各競技開催地での地元を巻き込んだ盛り上がりの必要性などがあり、行政と協力しながら課題解決していきたい。
- ・ 広域連合と関経連で検討するスポーツ振興には、企業や大学スポーツの振興、トップアスリートの育成、健康と観光産業とのシナジーなど共通したテーマが多い。今後、関西のスポーツ振興を実現していくにあたり、事務局レベルで「タスクフォース」を設置し、官民の役割等検討してはどうか。

・ オークランドも広域都市で、かなり広い範囲で競技が展開されていた。ボランティア中心で運営されており、広域であっても十分開催できる自信を持てた。また、海外から参加される方のために、情報を早くホームページ等を通じて発信していくことが重要であることを痛感した。（連合長）

・ これからは「健康」が非常に大きなテーマになりうる。健康をどう確保するかという見地からも「スポーツ」について重点的な取組が必要。また医療の諸産業が関西に集積している地の利を活かしてどうテーマにつなげていくかが問われている。（連合長）

・ WMGで会場への交通アクセス等について、会場へのアクセスに関しては「関西ワンパス」のような、関西一円の交通機関を一つのパスで乗れるような仕組みを是非作りたい。また、市町村レベルの実行委員会を早く立ち上げ、自分たちの地域で行う大会という意識を持ってもらえるよう働きかけていく。（連合長）

・ WMGの第2期スポンサー契約を秋口から募集するため是非ご協力いただきたい。（連合長）

・ WMGは多言語の、特にICTを活用した案内対応、広域の移動交通対応を連携して進めたい。また、経済活動に結びつく体験型ツーリズムを構築していきたい。（三日月委員）

#### 【柏原副会長（(株)京都銀行取締役相談役）】

- ・ 多言語の問題について、けいはんな学研都市で開発されたボイストラアプリを是非活用して欲しい。観光と医療の現場で使えるようにオリンピックまでに全力を挙げて取り組んでいる。

#### 【松本会長（住友電気工業（株）会長）】

- ・ タスクフォースについて、知恵を出し合って関西でスポーツインフラの底辺の広い、そしてトップアスリートが育つような雰囲気が出るといい。みんながスポーツを楽しめる、それが健康につながっていくというようなソフトなレガシーがWMGでできればいいと考えている。

### 3 広域行政のあり方・広域インフラについて

(主な発言内容)

#### ○広域行政のあり方について

##### 【松本会長（住友電気工業（株）会長）】

- ・ 関経連では長年、地方分権・道州制というテーマに取り組んできた。IoT、AIなどの先端情報技術を駆使して、地域の個性が発揮され、活性化に結びつくような行政の仕組みなどを関西広域連合とも連携して検討する必要があると考えている。

##### 【真鍋副会長（西日本旅客鉄道(株) 会長)】

- ・ 関西の中でも、拠点化が進んで人が集まってきている地域とそうでないところの二分化が進んでいる。さらに地域交通の維持が深刻な問題になっているところもあり、地方創生の必要性を感じている。
- ・ 地域活性化には、各自治体や住民が自主性を持って拠点作りを進めるとともに、国の権限・財源の移譲が求められるが、現在の中央集権的な地方創生政策では各地域の強みを活かした発展にはつながらない。
- ・ 地方分権の議論は下火になっており、関経連では国民的議論を喚起するため、改めてスタンスを取りまとめる予定としている。関西広域連合の「広域行政のあり方」検討会に関経連も参加し、関西広域連合に必要な権限・機能などについて、経済界の立場から検討を深めていきたい。

- ・ 政府機関の中央移転はそのほとんどが関西に立地している。国に、関西でも十分に機能することを実証し、関西が日本列島のもう一つの極だという実質的な存在感を示したい（**連合長**）
- ・ 地方分権について、大きな見地からの国と地方との役割分担の見直しを進めていくことが必要ということで提言を行っている。地方分権が進めば住民レベルでこんなメリットが出てくるということを国民に理解していただくようなアプローチが必要。今後の広域連合の方向付けも含め、広域行政のあり方研究会を発足させて議論を進めたい。メンバーの推薦をお願いしており、是非ご協力いただきたい。（**連合長**）

##### 【松本会長（住友電気工業（株）会長）】

- ・ 広域行政は制度設計に問題があるのではないかと考えている。関経連として、地方分権道州制の流れの中できらりと輝くものを提案したい。是非関西広域連合との話し合いを持たせていただきたい。

#### ○広域インフラについて

##### 【松本会長（住友電気工業（株）会長）】

- ・ 広域インフラでは昨年度、関西活性化の動脈となるインフラ整備の面で大きな前進が見られた。リニア中央新幹線の全線開業により3大都市圏が約1時間圏内となる。こうした動きを関西の次なる発展につなげていくことが重要である。

### 【八木副会長（関西電力(株) 会長）】

- ・関西がスーパー・メガリージョン拠点の一翼を担い、複眼型国土を形成していくために、新たな産業の創出が不可欠であり協力体制の強化を図りたい。
- ・さらに、政府機関の移転は首都圏バックアップ機能の強化に加え、雇用の確保や経済成長にもつながるため、引き続き官民が協力していきたい。
- ・また、関西及び西日本全体の活性化に資する、北陸新幹線やリニア中央新幹線等の整備促進、強化に向けて、官民が一体となり、国への要望活動等共同で行っていく必要がある。この認識を共通にし、複眼型の国土構造の形成に向けて、交通・物流ネットワークの整備促進・強化について連携を深めていきたい。

- ・北陸新幹線について、5月23日に関経連等とともに政府、関係省庁に対して要請を行ったところであり、大阪までの一日も早い整備の実現に向け働きかけていく。また、福井―大阪間の工事期間の短縮という問題については、これからは関西中心で行っていく必要があるのではないかと考えている。(連合長)
- ・リニアは環境アセスなど進めていくためにも早く路線を決めてもらわないといけない。それらを含めて財界の皆さんとともに国へアプローチしていく。(連合長)
- ・北陸新幹線、リニア、あるいは山陰新幹線、四国新幹線のように、まだ計画から整備に移行していないようなインフラもあるので、これらも含めて広域インフラの方向付けをしっかりと行わなくてはならない。(連合長)

### ○3 空港の運用について

- ・神戸空港のコンセッションの手続きが進んできて、来年4月1日から民間運営となるが、関西エアポートの子会社であり、実質的に伊丹、関空、神戸空港を一つの会社が運営管理することになる。これを機に関西のインバウンドの受け入れ体制など、どういった対応が望ましいのかを検討する必要があるため、3空港懇談会(※)の再開を進めて欲しい。(連合長)

(※)関西3空港懇談会…関西経済連合会会長が提唱した、関西3空港の在り方について官民で議論することを目的とした会議。平成22年を最後に開催されていない。

- ・優先交渉権者を選定した段階で10月頃実施契約締結の予定。関西エアポートの100%子会社のSPC（特別目的会社）を作って運営していく。神戸空港の活性化、設備等について伊丹、関空との連携の中で取り組んでいくという提案を受けている。4月1日からの運営開始に向けてスムーズに移行できるよう、また、運営が安全かつ確実に出来るように努力したい。(鳥居副委員)

#### 【松本会長（住友電気工業（株）会長）】

・個人的な見解だが、規制緩和は問題ない。しかし限られた空間の中でどこまでやるか。セーフティーズプライオリティというベースで時間軸で規制緩和をすべき。連合長が言うように状況が変わっているが、いつやるのがいいのか。規制緩和は反対しないがまず第一にセーフティーズプライオリティ。その範囲内で民間が入っている。突然 規制緩和と言われても、民間の会社はやらない。民間の目的は持っているアセットを最大に使って最大の利益を上げることだから、時間軸で真剣に考えるはず。何らかの定量的なものがないと、規制緩和というのは時間軸で考えられないのではないかと。

・空域の利用については、かなり安全性は確保できるはず。3空港が出来る時に空域管理は一元化したため、相当増えても心配はない。また、関空の離発着については大阪の上を飛んでいないが、飛ばせば守備能力が上がる。このような積み残しの宿題もあるので、一度俎上に上げて方向を決めていくことが大事。（連合長）

## 4 その他

### ○女性の活躍推進について

・関西は女性の労働力率のM字カーブの刻みが深いため、もっと女性の活躍を促す地域となるよう対策を展開していきたい。今後、広域連合協議会の部会として「女性の活躍推進会議（仮称）」を設置し、経済界と共同して取り組んでいきたい。（連合長）

#### 【牧野副会長（岩谷産業（株）会長兼 CEO）】

・最近では堅調な雇用状況が継続しているが、中小企業を中心として人手不足となっており、優秀な人材の確保、定着、生産性の維持を確保するため、多様な人材が能力を發揮できる環境整備に取り組んでいる。今後、女性の活躍推進会議が設置されるのを機に、女性活躍のためより一層連携し、体制づくりにつなげていきたい。

### ○トッププロモーションの成果について

・4月にオーストラリアで行ったトッププロモーションの成果が早速あり、カンタス航空が12月14日から季節便を関空からシドニーまで直行便を運行してくれることになった。利用がないと続けてもらえないので、利用促進策を検討することを委員会で申し合わせた。関西経済界としてもご協力願いたい。（連合長）